

福祉環境委員会記録

令和5年10月24日（火）
15時57分～17時28分
全員協議会室

【委員】小川委員長、村木副委員長、
村武委員、柳楽委員、岡本委員、川神委員

【議長・委員外議員】

【事務局】久保田書記

議題

- 1 【取組課題】就労支援を含めた障がい者支援について（委員間で協議）
- 2 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[15 時 57 分 開議]

○小川委員長

ただいまから福祉環境委員会を開会する。出席委員は4名で定足数に達している。なお、本日は村武委員及び川神委員が欠席である。それではレジュメに従って進める。

1 【取組課題】就労支援を含めた障がい者支援について（委員間で協議）

○小川委員長

昨日の協議を踏まえ、正副委員長で提言案を調整した。今朝、皆に配信したが、それについて意見があれば願います。

まず、就労支援を含めた障がい者支援についてから進めていきたい。昨日の協議を踏まえて変更した点は赤字にしてある。「はじめに」の赤字部分は「おわりに」に移してある。特に、先進地視察等40回を超える調査研究をしてきたことなど、前段のヒアリングや現状把握のためといった文言を含めて移動したほうが良いと判断した。

あとは昨日それぞれの項目で提言内容について意見があった箇所については、できるだけ意見の趣旨に従って修正したつもりであるが、何か気になる点があれば意見を伺いたい。

○柳楽委員

2ページの下から二つ目の項目の一番下、「報酬アップについて働き掛けを行っていただきたい」のところで、「誰に」なのか明確にしておいたほうが良いと思った。

○小川委員長

相手方が明確でないということかと思う。国県へということが良いか。

○柳楽委員

はい。

○小川委員長

では「国県へ働き掛けを行っていただきたい」と修正したい。皆の発言された部分については修正したつもりなので、大体良いだろうか。特に、3ページの上から二つ目の項目、新たに伝達方法と防災情報について新たに増やした。この表現で発言趣旨が含まれているだろうか。

暫時休憩する。

[16 時 02 分 休憩]

[16 時 10 分 再開]

○小川委員長

委員会を再開する。資料が少しそろってない部分があったが、3ページの上から二つ目の項目、新たに朱書きになっている部分。昨日の議論の中で、情報を取りやすく

するとか、特に防災情報などがきちんと伝わるような配慮が必要ではないかという中身だったと思うので、簡単に3行ほどでまとめたのだが。何か修正が必要か。

○柳楽委員

情報保障に関することとなると関連する内容なのかと思った。ここをつなげてでも良いかと思ったのだが、よりここを強調するのであればこのままということもあるかなと思った。皆がどのように思われるかというところで。

○小川委員長

この項目の上のほうは、どちらかというとも機器の助成がメインであって、下は伝達するための方法、情報伝達の工夫といったことが趣旨になっているかと思う。したがって助成を検討してくれというのと、伝達方法についても配慮してくれというのとは、趣旨が別かと思ったので別にしたのだが。もし皆から意見があれば修正はできる。

○村木副委員長

私も委員長が言われたように、どちらかというとも最初の項目がハード面で、次がソフト面という形で整理すれば良いと思ったので、この形が良いと思った。

○小川委員長

では1項目増やすという形でよろしいか。

(「はい」という声あり)

今日は欠席だが、村武委員からは1項目目の2行目、「助成対象について検討されたい」とあるが、「対象」が付くと機器を決めることを検討してくれという印象があるので削っても良いのではという指摘があった。ここを削ると「補助機器の助成について検討されたい」となる。「対象」は削っても良いか。

(「はい」という声あり)

では削ることとする。気づいた順に進める。4ページ一番上について意見があるようなので伺いたい。

○岡本委員

4ページ一番上の項目。「障がい者へ配慮し誰一人」云々のところ、昨日まではここに「教育機関では」という表現が入っていた。その表現を外し、「体験型学習（キャリア教育）」とされているが、次の項目には「事業所見学や職場実習」とある。例えばこれは学校関係で言わせるとキャリア教育と示せるが、そうでない一般的なことをやると、改めて再就職するための職場実習等の経験をされるほうが良いのではないかという観点で、この文言は必要であり、また、キャリア教育というのは新たに中学高校の子ども達が体験型学習をするということにも必要な状況があるというところで、昨日は消した「教育機関」という部分についてはここに入れていただきたい。

○小川委員長

昨日の検討の中ではそれぞれ頭についていたものを消したが、一つ目と二つ目の項目の関係で、どちらかと言うと就学児童生徒というところが一つ目になると思うし、二つ目は大人の障がい者の障がい実習等が趣旨になっていると思うので、今岡本委員が言われたように、一つ目については最初の案にあった「教育機関では障がい者へ配

慮し」とつなげて、ここについてはほかとの兼ね合いもあって分かりにくいということがあったので、それをまた戻すということによろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそのように修正したい。四つ目の網掛け部分はなくしても良いか。少し意見や紹介があったところだということが多分残っていると思う。これは消しても問題ないと思う。

「おわりに」に飛ぶが、1、2行目のあたりが、「はじめに」の部分の中ほど部分と重複した表現になっているということで、少し簡単に言うと「働くことに焦点を当て、誰もが働ける場所の創設をコンセプトとして」というのが、同じように「はじめに」と「おわりに」あるということで、重複を避けるということで、一応事前に少し打合せした中では、「働くことに焦点を当て」は残し、その後の「誰もが働ける場所の創設をコンセプトとして」は削除して、「会議や勉強会、委員内での討論をはじめ」につなげてはどうか。「誰もが働ける場所の創設をコンセプトとして」が両方に入っているから、片方を消したほうが良いのではないかという提案なのだが、どうだろうか。当初副委員長と話した中では、「はじめに」で方向性というか、基本理念というか、そういう考え方はあって「はじめに」の中にあるし、「おわりに」の中でも重複しているところは出したほうが良いかなという趣旨で、同じような内容があったのだが。

「はじめに」と「おわりに」だけを比較すると全く同じ文章があるもので、そこはもしかしたら変えるかどうかというときに、これを削っても全体の流れでは、差し支えないのではないかということがあった。もし先ほどのような提案で良ければ、「誰もが働ける場所の創出をコンセプトとして」の部分は削除をお願いできればと思う。

あとは昨日の議論で、先進地視察40回を超える調査研究の実施などはこちらにもっていきたい。あとは接続詞を入れた。これは事務局と調整しながら入れてもらった。暫時休憩する。

[16 時 19 分 休憩]

[16 時 27 分 再開]

○小川委員長

委員会を再開する。全体を通して何か意見があれば。

○村木副委員長

「おわりに」の部分である。ここは私が書いたということもあっていま一度確認したが、6ページ最後の行「教育機関、就労支援機関、企業、関係団体、そして」のところで、「関係団体」はなかなかタイミング的に時間が取れなかったのかなと思っているので、ここについては具体的などころはないため削除したほうが良いかと思っている。

○小川委員長

多分そういったところも含めて、計画はあったかと思うが十分なヒアリングがで

きてないし、行けてない部分もあると思うので、ここは削除ということをお願いする。
ほかに皆から、気付いた点があればお願いします。

○柳楽委員

4ページ二つ目の項目。「お互いを知る仕組みづくりの検討と、企業の求める人材のニーズ把握と」のところで「と」が続いているので、「ニーズ把握と共に」という表現に変えたらどうかと思う。

○小川委員長

「と」が二つ重なるよりそちらのほうが流れが良いと思うので、そのように変更をお願いしたい。

○岡本委員

同じ位置で、「ニーズ把握と共に」は良い。それから「事業所見学会や職場実習が積極的に図れるよう」は良いが、その後にもまた「事業所見学や職場実習ができる企業を増やすように」と、同じ表現を二度使うのはどうか。その前段の表現を何らかの言葉に変えて、「そのような企業を増やすよう取り組まれたい」という表現になるべきではないかと思ったのだが。

○小川委員長

「事業所見学や現場実習」が2か所出ている。ここでも「ニーズ把握によってそういういったことを積極的に図る」ことを求めると同時に、その企業を増やすということを取り組むということなのだが、この言葉が2回出てくるところを少し整理したほうが良いと。

○岡本委員

はい。

○村木副委員長

最初は財政支援で、次が企業を増やす。

○小川委員長

趣旨を盛り込んで、どちらかを少し整理したほうが良いと思う。どのように変えようか。最初の「職場実習が積極的に図られ」、例えば「企業を増やす取組」というようにつなげておいて、その取組と中小企業に対する財政支援について検討されたい、という形にすれば削除できると思うが。「事業所見学会や職場実習が積極的に図られ、企業を増やす取組」か。何か適切な言葉に変えるとできそうなのだが。

○柳楽委員

「積極的に図られるよう」というところまではそのまま残しても良いかと思うが、考え方として、それに対応していただける企業の拡大というところと、その企業に対する財政支援という形で。それを良い言葉に変えていただければ良いかと思う。

○小川委員長

それでも意味は通じる。「増やすよう」ではなく「拡大」が良いか。

○村木副委員長

「及び中小企業に対する財政支援を検討されたい」

○柳楽委員

良いと思う。

○小川委員長

では、「積極的に図られるよう」までは置いておいて、その後に「受入れ企業の拡大及び中小企業に対する財政支援について検討されたい」という形だろうか。

(「はい」という声あり)

ではそのような修正ということでお願いしたい。ほかに皆から気付いた点があれば。事務局からは何かあるか。

○久保田書記

今出ているところで特にはない。

○柳楽委員

7ページの一番上のところだが、多分丁寧に表現をしているということなのだろうが、「協力を得まして」となっているのが「協力を得て」という表現で良いのでは。

○小川委員長

先ほどそのような趣旨があって、朱書きのところを、「まして」は要らないかと思ってどうだろうかというところもあるし、それから4行目も「制度化されました委員会代表質問」は「制度化された委員会代表質問」で良いのかなと。

○村木副委員長

ええ。

○小川委員長

修正するなら一緒にしたほうが良いかと感じた。「まして」は2か所取って良いか。

○村木副委員長

私を書いたが、取るようお願いする。

○小川委員長

下から4行目も「お時間をいただきました全ての方に」は「お時間をいただいた」で良いかと思う。

○村木副委員長

はい。

○岡本委員

「お時間」も要らない。

○村木副委員長

おっしゃるとおりである。

○柳楽委員

「時間」も取ってしまって良いのでは。

○小川委員長

「ご協力いただいた全ての方に」で良いということか。

○柳楽委員

はい。

○小川委員長

ご理解ご協力、様々な部分で都合を付けていただいた、色々ご協力いただいたということで。では「ご協力いただいた全ての方に感謝しお礼申し上げます」という形のほうが、すっきりするかもしれない。

(「はい」という声あり)

ではそのように修正したい。

○岡本委員

一番下の「様々なご意見をいただけたらと思っております」の「いただけたら」という表現が何か、口語体というか、文章としてどうなのかと思っている。何か代わる文章があれば良いと思う。

○小川委員長

ここの気持ちというのは結局、この提言が終わりではなく、先ほども意見が出ていたように、団体などにもまだ意見を聞いてないし、これからどんどん意見を出してもらって、これがゴールではない、これからも意見を出してもらって具体的な政策、充実した施策に展開して行ってほしいという思いで、入れたほうが良いと思った。そういうことも含めて何か適切な表現があればお願いしたい。「様々な意見をお寄せいただきますようお願いいたします」か。そういうことなのかと思うが。

○柳楽委員

「提言内容について充実させていくべく」というところが、「提言内容」となるこのもの自体ということになるのかなというように思ったので、それよりは先ほど委員長が言われたように、表現をどうするかはあるが、今回のこの提言は今後もしっかりと検証していくとか、そういった形で、その際にご意見を伺いながら進めていきたいというような表現が良いのかなと。

○小川委員長

趣旨はそういうことだと思うので、少し表現を変えたほうが良い。提言の内容も、これだけで十分だとは決して思っていないということも含めて、とりあえずここまでは中間地点でまとめたが、これからもう少し色々な意見を入れてもらいながら、福祉のまちをつくり出そうということなので。確かにほかの委員会でも提言や建議書を出した後、きちんと検証作業をしていこうと強調されているので、そういう趣旨をここで最後に入れておいたほうが良いと思う。提言内容を充実させるわけではなく、頭の中にはもっと豊富化させていくべきだということがあった。これは中間的な取りまとめであって、もっと進化していくべきものだろうと。そういう趣旨をどのように表現するかということで、とりあえずこのようにした。何か適切な表現があれば。

○岡本委員

委員長のほうでやってほしい。

○小川委員長

ではそういう趣旨でこの部分は、柳楽委員の出された意見を伺いながら検証等もしていかなければいけない、ということで。こちらで修正させていただく。昨日に続

いて議論させてもらっているが、日程的には市長提出あるいは議長決裁等の日程があるので、あとはこちらで微調整というか、最終的なものは一任をお願いできればということも含めて諮りたいと思う。そういうことで良いか。

(「はい」という声あり)

ではそれを前提にしてもう少し何か意見があれば。なければ一旦置いておきたい。よろしいか。

(「はい」という声あり)

では、次に重層的支援体制の構築についての提言書に移りたい。

○村木副委員長

先日話のあったとおり、「はじめに」を入れさせてもらった。それ以降についてはファシリテート・コーディネートのための研修を入れた。話に出た、つなぐシートのところが、ずっと読んでみると、つなぐシートというのが浜田市の中にないので、先進地で活用されているというのを入れた。

障がい者を対象としたものをこちらに移した関係もあり、必要な人というのも、話の中ではここは「障がい者へ」とあったのだが、「必要な人」ということで、少し幅を広げた。

○小川委員長

今日も議会広報広聴委員会で、委員会代表質問、柳楽委員にやってもらった原稿などを見ると、この点については結構質問されている。重層的支援体制の構築という言葉があるが、項目の中には1か所、2ページ目の一番上に「重層的支援体制整備事業の中で」という言葉が出ているだけで、市に対してどう求めるのかが出てない。囲み内には趣旨についてあるが。そこは出さなくても良いかとも感じた。もともと「はじめに」にも書いてあるように、就労支援を含めた障がい者支援がある中で、それも一部だが、本来なら重層的支援体制整備事業の一部として機能しなければ。それをもっと国の事業を活用してやってほしいというのがあるのだが、それに対して執行部の答弁は、十分ではないかもしれないが一定程度できているという回答もあった。しかしそれに対してどのような形をこちらが求めていくか、重層支援体制ということ。私とすれば、それが充実すれば障がい者の就労支援も十分その中で可能だとは思いますが、そのところが難しいし、I P Sの関係などもできればこういった中に組み込んでいけば可能かなということなどがあつた中で、最終的には視察する中で重層的支援体制の構築ということとは別に設けたほうが良いというところまで、とりあえず到達している。その辺は言葉として、重層的支援体制を求める部分、この四つの項目で良かったらこれでも良いと思うが。もともとが就労支援の関係からスタートしてここにたどり着いたということで副委員長に考えてもらっている。

○柳楽委員

委員会代表質問のときにも言わせてもらっていた、地域資源の掘り起こしの部分が入ってないと思った。この体制整備をするに当たっては大事なところなので、地域

団体の掘り起こしだったり連携だったりというところを入れたほうが良いと思う。

もう1点、囲みの中の2段落目、「当市における福祉部門と労働部門及び教育部門が連携し」とあるが、障がい者の就労関係のところでもこういう表現になったかと思うが、重層的支援体制の整備となると、そこに限らず市内の全ての部署が関わってくるかと思うので、その表現は少し考えたほうが良いかと思う。

○小川委員長

そのことも含めて、本来は「はじめに」に入れておけば良かった。そこが表現しにくいというか。たまたま就労支援を含めた障がい者支援をずっとやる中で、こういう制度も活用する可能性としてあるのではないかということの中でやっているもので、そちらに偏った形の提言になっているが、という趣旨を「はじめに」に入れば良かったかと思った。その中で特に就労支援に関わる部分について、別に提言をしますといことになったと思う。そのことを本来「はじめに」の中で説明しておく、スムーズに、特に働く部分に関連したところだけをピックアップした、重層的支援体制全体ではなく、その中における就労支援の部分についてだけ、この中で別にさせてもらうということにさせてもらえば良かったかと思った。

○柳楽委員

委員長が言われることは分かった。そうであればやはり「はじめに」のところでも何かしらそういった文言を入れて。民間資源活用については、やはりどちらにしても関係が深い、体制をつくるためには必要なところなので、入れていただけたらと思う。

○小川委員長

では1項目増やすか。

○柳楽委員

ええ。

○小川委員長

主語をどのような形でやるかといったときに、そこにも重層的支援体制整備事業を実施するに当たり、というか、それを検討する段階で、とかいうことを頭に持ってきておいて、今ある地域資源など。ない場合は新たにつくる自治体もあるが。今の地域資源の掘り起こし、その活用というところなども強調されていたので、そういうことをここで入れておくと。五つ目で良いか。

○柳楽委員

書き出しは「重層的支援体制を構築するためには」という形でも良いかと。

○小川委員長

そのようにしてもう1項目増やす。ほかに皆から意見はないか。

○岡本委員

私の中ですとんと落ちなかった。地域資源の言葉はぜひ入れたいと思っていた。囲みの中で柳楽委員が言った一つとして「当市における福祉部門と労働部門及び教育部門が」ということについては、もっと広い意味だろうということ言われたと思う。

私がそれをやるとぼやけてしまうので、私はこの表現はあって良いのだろうと思った。ここのつなぎに結局今の、地域資源ということはこの後に入れて、それらが連携しサポートできる仕組みを求めたい、ということにしておく、それを地域資源というのがここで表に出てくる。実際はあそこへ重層的な、座間市だったか。

○柳楽委員

豊田市。

○岡本委員

要は民間団体が現れてくる。あれをどこかで見せないと、重層的とってこれを単純に見たときに、なかなか見えない。ここに民間の登用があるのだということを一応入れてもらって、そういうことも絡ませようというので、そこに文言を入れることが必要ではないかと思った。それで今話があるように、四つ目か五つ目の、民間の登用ということを表示すると、補完的なことができるかなと思った。

○小川委員長

囲みの中をもう少し書き加えたほうが良いということか。柳楽委員が言われたのは地域資源の掘り起こしだとかだが。

○岡本委員

地域資源か。

○柳楽委員

地域資源という表現がどうかなというのものもあるが。民間団体や地域の団体、団体に限らず。

○小川委員長

構成組織、ここにある。

○岡本委員

地域資源、違うな。視察の企業の名前は何かだったか。

○柳楽委員

視察の項目があるので。

○小川委員長

暫時休憩する。

[16 時 57 分 休憩]

[17 時 23 分 再開]

○小川委員長

委員会を再開する。もう1項目増やすということで、重層的支援体制整備事業を構築するためにはということで、先ほど柳楽委員から言われていたのでそこを追加するのだが、この辺について詳しく補足があればお願いします。

○柳楽委員

書き出しでは「重層的支援体制を構築するためには、民間活力の掘り起こしと活

用、他機関連携、こういったことが大切だ」という言葉をキーワードに文章を作ったらどうかと思う。

○小川委員長

今日おられる委員で、作った案をまとめてもらって、それを一つの文章にしてもらう。それは副委員長にお願いする。それを入れた場合に、囲みの中も少し変更したほうが良いことになると思うし、「はじめに」の部分を「就労支援を中心にやってきたから」ということはなしにして、このまま「はじめに」は若干修正したほうが良いのではという議論が途中にあったが、それもなし。重層的支援体制整備事業ということで上げるなら、そこにこだわらずに、例えば囲み中ほどにあった「福祉、労働、教育部門だけに限らず全庁的に」に変えることによって、「はじめに」を変える必要がないという話もあったので、そのように副委員長に変更をお願いして良いか。

○村木副委員長

重層的支援体制の構築というのがこの提言書だが、体制はできているということになれば、先ほどの重層的支援体制整備事業の導入についてということで統一させてもらって良いか。

(「はい」という声あり)

○小川委員長

(1)も変えるということか。

○村木副委員長

はい。最初の表紙を。体制の構築はできているので。その事業を導入することを最終的に提言したいという言い回しに整理したいと思っている。

○小川委員長

そうすると先ほどの五つ目の部分が生きてくる。その前提で、事業化してほしいということを目指す中で、具体的にはそういったところに注意して、そういったところをPRしながら進めてほしいという内容にまとまる気がする。その部分だけは今日のこの時点ではできないことになるが、明朝には作る。

あとは先ほど言ったように時間の関係があるので、明朝までに出したらそれで完成ということで。今後の日程については昨日に話した形で、流れとしては行っていきたい。提言案の検討については以上で終わりたいが、よろしいか。

(「はい」という声あり)

大変長い時間を掛けて、皆と議論し、やはりそういう議論を通して共通認識というか、ちょっとしたお互いの認識の違いもあったかもしれないが、一つの方向にまとめることができたのではないかと思う。そういうことで、提言については終わりたい。

2 その他

○小川委員長

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

これで多分最後の、正式な委員会になると思う。この2年間大変お世話になった。皆のおかげでこの提言も何とかこぎ着けることができ感謝している。以上をもって福祉環境委員会を終了する。

[17 時 28 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

福祉環境委員会委員長 小 川 稔 宏